



## One for all, All for one

「1人はみんなのために、みんなは1人のために」

校長 角 保宏

7月14日（土）に開催される第22回運動会まで、いよいよあと2週間となりました。今週月曜日から運動会のための特別時間割が生まれ、当日に向けての本格的な練習がスタートしています。昨年の運動会を振り返ってみると、比較的涼しい環境下であったため、熱中症など体調管理面での心配をすることもあまりなく、子供たちは伸び伸びと元気いっばいに演技や競技に持てる力を十分に発揮することができた素晴らしい運動会でした。今年の運動会もこれまでと同様に、見応えのある白熱した競技、あるいは参観する人たちの感動を呼び起こす演技など、思い出に残る楽しい運動会を子供たち全員がめざしていってくれたらと願っているところです。

そういった願いを込めて、6月26日（火）の全校朝会で「運動会に向けて」というテーマで全校児童生徒にお話をしました。以下は、その講話の要点です。

「運動会」という学校行事は、日頃の体育授業の成果を発表する場であるとはいえ、全校児童生徒が集団で勝敗を競い合う、学年縦割りを中心とした集団行動を多く伴う、保護者や学校関係者に広く公開する、といった3つの大きな特性があります。こういった特性が最大限生かされるような運動会を指導者側は計画運営していかなければなりません。とくに、勝つために全力を尽くす、目標に向かって全力でがんばりぬく、仲間と一致団結して協力するなど、運動会は集団で勝敗を競い合う体育的行事といった他の行事にはない大きな特性があるので、子供たちには勝ち負けにこだわった行動や態度を大切にしてほしいと思います。赤団あるいは白団には絶対に勝つ、他の人には絶対に負けない、といった強い気持ちをもって臨む。そういった強いモチベーションがあるからこそ、運動会前の厳しい練習にも自ら真剣に取り組むことができ、全力で走り、持てる力をすべて出し切ることができるのだと思います。

しかし、ここで押さえておかなければならない重要なポイントがあります。それは、自分だけの勝ちにこだわるのではなく、だれかのために一生懸命になる、ご褒美や見返りなどを一切求めることなくみんなのために無心で勝利をめざして頑張りぬく、といった考え方が大切であるということです。『自分ひとりのためだけではなく、常にみんなのために行動する。』こういった気持ちや態度が友だちの心を一步前に押し進め、まわりの人を元気づけさせ、多くの友だちにがんばりや勇気を与えてくれる大きな原動力となるはずです。友だちと切磋琢磨し、ともにつかみ取った喜びは、自分一人だけでつかんだ喜びの何倍もの大きな喜びとなって自分自身の心に還ってくることでしょう。見返りを求めるのではなく、だれかのために無心で頑張る。そして、みんなで心をひとつにして勝利に向けて全力で取り組む。学校以外では得られない、こういった貴重な体験を運動会の場でぜひ多く獲得して自分のものにしてほしいと思います。『自分の勝利はみんなの勝利。みんなの幸せが自分の幸せ。』ジョホール日本人学校の児童生徒全員がこのように思えるような運動会になれば、きっとさわやかで素敵な運動会になることでしょう。

それぞれの個性が光り輝き、みんなでひとつの目標に向かって頑張り、自分を大きく成長させてくれる、そのような運動会になることを今から楽しみにしています。